

個人山行報告/8月3日(月)～4日(火)  
束の間の夏山/中央アルプス宝剣から木曾駒へ  
布引支部 坂田 まゆみ

昨年の夏山シーズンは、悪天候の為予定していた槍ヶ岳登山も立山縦走登山もキャンセルとなり、悶々とした気持ちのまま終わってしまいました。今年こそは！と意気込み、梅雨も明け青空の下、アルプスの峰々を見ながら歩く・・・と夢にまで見た槍ヶ岳登山。ところがコロナ禍の流行。外出自粛宣言が発令され登山も危ぶまれましたが、5月の末に自粛宣言が解除され、晴れて待ちに待った夏山計画へ。が喜んだのも束の間、東京を中心にじわじわとコロナの二次感染へ・・・今年こそは槍ヶ岳にと計画していたのですが、山小屋に二泊三泊するのは危険かなという判断の結果、一泊なら大丈夫でしょう！と木曾駒ヶ岳へと行き先を変更しました。コロナ感染対策として山小屋が混まないウィークデイに行くことにしました。



千畳敷カールをバックに宝剣岳を望む

天気とコロナ禍を心配していましたが、予定していた日を迎え、大阪梅田を8時30分にバスは出発。高速バス、路線バス、ロープウェイと乗り継ぎも良く、千畳敷駅には14時30分過ぎに着きました。千畳敷駅から外へ出ると・・・まあ～なんと言うことでしょう！目の前には千畳敷カールから宝剣岳の大パノラマが広がり青空も見えてテンションも大上が

り。30分程高度順応してから乗越浄土に向けて登山開始。まず登山口にある駒ヶ根神社に無事を祈願しました。高山植物を観察しながらゆっくりと歩きます。しかし高度が上がり急坂になると息が上がり苦しくなってきました。



ハクサンフウロ



チシマギキョウ

16時過ぎに何とか乗越浄土に到着。本日の宿泊場所の宝剣山荘にチェックインしました。部屋にザックを置き夕食後伊那前岳まで歩きました。

山荘まで戻ると駒ヶ岳に沈む夕陽が見えました。山荘は手洗い、消毒、三密が徹底されていて部屋も我々3人で一部屋でした。20時30分頃消灯となりました。

あくる朝4時30分に起床しました。朝から良い天気でした。朝食までの間、乗越浄土に日の出を見に行きました。日の出から右に目をやると富士山が綺麗に見え感激！



乗越浄土から富士山が！！

山荘の方を振り返ると宝剣岳の見事なモルゲンロートも見えました。



朝日に染まる宝剣岳（2,931M）

朝食を済ませ6時、空身で宝剣岳に登りました。宝剣岳は岩山です。3点支持を心がけ一步一步慎重に登りました。登れば登るほど風が

きつく頂上では立っただけで精一杯でしたが、富士山はもちろん槍ヶ岳も見ることができました。山荘に戻り不要な荷物をデポして7時に木曾駒ヶ岳に向けて出発しました。30分程歩くと木曾駒ヶ岳の手前にある中岳に到着。そして午前8時に木曾駒ヶ岳山頂に到着。



木曾駒ヶ岳（2,956M）山頂にて

まず山頂の駒ヶ岳神社にお参りました。山頂は私達3人だけで360度の大パノラマを独占しました。西に御嶽山、北に乗鞍岳、槍ヶ岳、穂高連峰、東は八ヶ岳から南アルプス、富士山と夢に見た以上の素晴らしい眺めです。景色を眺めながらコーヒータイムと至福のひとときを過ごしました。



ヒメウスユキソウ

9時、将棋頭山方面に向かって出発。ハイマツが生い茂る尾根道を濃ヶ池分岐へと歩いて行きます。なかなか分岐点に到達しないので、不安になりイライラしてきました。



駒飼ノ池を通過

途中、濃ヶ池方面から登って来た人からもうすぐ分岐点と聞きホッとしました。10時10分、ようやく分岐点に着き、濃ヶ池には10時30分に到着。梅雨時の大雨により池も川も滝も水が豊富で、大昔氷河湖だけあってとても冷たかったです。



紅葉時のスポット場所でもある「濃ヶ池」

駒ヶ岳の南側は暑くバテ気味で、濃ヶ池から駒飼の池までの登りはしんどかったですが、川水や可憐に咲く高山植物に癒されながら、中腹



ミヤマクロユリ

辺りからは麓から湧き上がるガスのミストに涼しさを感じながら、一步一步踏みしめて登りました。12時過ぎに何とか宝剣山荘に戻ってきました。山荘でビールを買い外のテラスでお疲れ様の乾杯をしました。昼食を済ませ、13時下山開始。ロープウェイも路線バスも臨時便が出ておりお陰で「こまくさの湯」にゆっくりと浸られました。



こまくさの湯・露天風呂（HPより）

高速バスも予定通り 21 時 40 分に梅田に到着。

今回は天気に恵まれ大満足の山行きでした。  
そして、束の間の夏山に同行して下さった、  
木村絹代保久良支部長様、布引支部・渡田哲  
夫ニューサークルリーダーのお二人には心よ  
り感謝申し上げます。有難うございました。